

下京区まちづくり運営方針（案）

意見募集における御意見と下京区の考え方

○将来像・目指す姿

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 幅広い世代がここで生活をし、日々の暮らしとともに、おもてなしのまちとして京都らしい文化が受け継がれていくことが大事。	2	下京区民の住民自治の精神やおもてなしの心を大切にし、京都・下京区らしい文化が連綿と受け継がれ、誰もが生きがいを持って活躍するウェルビーイングなまちを目指します。
2	・ 住民自治のまち、おもてなしのまち、優しいまちにしたい。木を育てるようなイメージで10年、20年、もっと長いスパンでものごとが起こることを想定したまちづくりが良いのではないか。	2	本運営方針は下京区のおよそ5年間の中期的な方針ですが、いただいた御意見を参考にしながら長期的な視点でのまちづくりを推進してまいります。

○まちづくりの方向性

1 地域コミュニティが元気なまち

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 区役所の庁舎内に区民が日頃から訪れることができるような拠点機能を持ってほしい。区役所が単なる手続き機能だけでなく、地域のコミュニティを支える場に自らなってもらえると嬉しい。そのためには下京区役所の建て替えやリニューアルを検討いただきたい。	1	区役所・支所の庁舎は住民の皆様にとって、最も身近な行政機関として重要な役割を担う施設であることから、本市では区役所・支所の庁舎について、順次建替えを検討しています。 下京区総合庁舎につきましては、現時点において建て替えの具体的な時期は未定であり、今後の庁舎整備の進捗等を踏まえながら検討してまいります。
2	・ 参加層が狭いリクリエーションや高齢者向けの取組ばかりにならないよう、清掃活動、防犯訓練など、必要性が高く、広い世代が参加しやすい活動によって、世代を超えたコミュニケーションを推進してほしい。	3	持続可能な地域コミュニティづくりに向けて、地域活動への参加促進や多様な主体の世代や分野を超えた地域活動への参画、地域の方々と様々な団体・事業者との交流機会の拡充などの取組を進めてまいります。
3	・ 下京警察署が地域住民に信頼され、今より更に良い警察署として存続してほしい。	1	市民しんぶん下京区版「下京のひびき」での定期的な情報発信や防犯啓発活動など、下京区役所と下京警察署との連携を密にしながら、引き続き誰もが安心安全にらせるまちづくりに取り組んでまいります。 いただいた御意見は下京警察署へお伝えいたします。
4	・ お東さん広場の利用について、フリーマーケットの開催が非常に多く、一部の主催者がテントやゴミを放置したまま帰ることがある。お東さん広場は、地域住民にとっても、京都にとっても大切な場所であると認識しているので、広場を利用される方にもその認識を共有してもらおうようにしてほしい。	2	お東さん広場の利用につきまして、指定管理者、地域団体等と協力し、周辺環境改善を進めてまいります。

2 誰もがいきいきとくらするまち

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設や民泊が増えすぎて、人が住みにくいことにならないよう求める。商業施設については、空き家を利用しつつ、職住一体の推進など住人を増やす方向を目指してほしい。 また、住まいの確保については子育て世帯、介護世帯などにおいてますます厳しくなってくるので、生活の基盤である住まいの安定を検討いただきたい。 	3	<p>下京区公式ウェブサイト「暮らしたい下京」では、下京区への移住を検討する方に役立つ情報を発信し、若者や子育て世代に選ばれるまちとしての取組を推進しています。</p> <p>いただいた御意見は今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド観光客による日常生活の不自由を解消する施策を講じてほしい。個人商店は利益を得られるだろうが、市民目線では、ごみ問題や公共交通機関の混雑、観光客の歩道占拠・私有地侵入、物価高騰、ホテル・民泊の乱立などインバウンドによるメリットを感じるものがなく、負担や不満が堆積している。 	1	<p>いただいた御意見を参考に関係部局と連携しながら、観光課題の改善に向けた取組や、誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを進めてまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の居住者が散見されるが、日本語が通じないので不安。交流の機会や日本語の習得を政策的に展開して欲しい。 また、小学校入学の時点で、ユニバーサル教育の時間の導入に取り組んでほしい。 	2	<p>外国人との交流の機会や日本語習得に関する御意見については、今後の国際交流の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>また、支援が必要な子ども・家庭への切れ目のない支援、子どもが主体的に学び育つ環境づくりを進めます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 下京区のまちづくりで全区民が「居場所」と「出番」があるようにしてほしい。 	1	<p>いただいた御意見を踏まえ、まちづくりの方向性「2 誰もがいきいきとくらするまち」に「すべての人に『居場所』と『出番』がある」という表現を加えました。</p>

3 自然環境を大切にするまち

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹を増やして、緑豊かな景観を育むとともに、地球温暖化防止につながるほか、高齢者や子どもが休んだり、遊んだりできるような公園や広場をもっと整備し、緑化を進めてほしい。 梅小路公園は下京区の誇りなので、大切にしたい。自然に触れ合うイベントを開催して欲しい。 	5	<p>街路樹、公園や広場を含むみどりの量と質の充実に向けて、梅小路公園や関係部局と連携し、いただいたご意見も参考に緑化の取組や自然と触れ合う機会の創出を進めてまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 方針内に高瀬川について記載があるが、高瀬川は「東高瀬川」と「西高瀬川」がある。今後、「西高瀬川」も含めた河川整備や地域活性化が進められるのか。 	1	<p>いただいた御意見については今後の河川整備の参考とさせていただきます。</p>

4 誰もが安心安全にくらせるまち

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 人が住み、人の目がある町づくりを推進してほしい。細い道路は自動車の速度制限をもっと厳しくしてほしい。	2	改正道路交通法施行令の施行により、令和8年9月1日から生活道路における自動車の法定速度が60キロメートル毎時から30キロメートル毎時に引き下げられることとなりました。 誰もが安心安全にくらせるまちづくりに向けて、地域と連携しながら防犯力の向上や交通安全の推進に取り組んでまいります。
2	・ 最近のたばこの吸い殻ゴミは目に余る。自転車運転しながらの喫煙も危険なので早急に対策してほしい。	1	京都市内全域で路上喫煙をしないよう、指導員の巡回指導や啓発物等での周知啓発に取り組んでいます。 市民や観光旅行者の方の安心・安全の確保に向けて、引き続きこれらの取組を推進してまいります。
3	・ 歩道が狭く、バス停やお店の前に並ぶ人を避けるために車道に一度出たりしなければならぬことがある。交通安全策はソフト面だけでなく、歩道の幅などハード面から整備してほしい。	1	いただいた御意見については、今後の道路整備の参考とさせていただきます。
4	・ 米国・イスラエルによるイランへの侵攻やイスラエルによるパレスチナ侵攻にNoを突き付けるべき。イベント等たくさん開催していることそのものは非常に有難く思うが、ガス抜きや口封じにならない、大局から見た上での安心安全なまちづくりを希求する。	1	これからも区民・行政が一体となり、「誰もが安心安全にくらせるまち」の実現に向け、様々な取組を進めてまいります。
5	・ シルバー世代の方々に、子育てのような気持ちで見守ってほしい。	1	誰もが安心安全にくらせるまちづくりに向けて、見守り活動を含めた防犯、交通安全対策等についての各団体間の連携・協働などの取組を一層推進してまいります。

5 文化・芸術・産業を活かしたまち

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 京都市立芸術大学が下京区に来て2年になる。最初は縁遠かった地域と学校、学生が徐々に近づいているように感じる。学生には商店街、鴨川、市場、梅小路公園など下京区固有のエリアにもっと足を運んで、芸術の感性を磨くとともに、より地域に溶け込んでいただけると嬉しい。和菓子屋、仏具関連の職人、畳店などもあるので、そういった緻密な仕事を人が知る産学伝統が一体となった取組が増えてほしい。	4	下京区では京都市立芸術大学が移転したことにより、文化・芸術・産業が交差し、融合することで様々な取組が生まれています。今後も京都芸大と連携のもと、産学伝統が一体となった取組が増えるよう、「京都学藝衆構想」が掲げる学問・文化・芸術・産業・お祭り・スポーツなど幅広い分野の担い手、まちの匠、語り部をはじめ地域の方々が育んできた多彩な魅力や価値に触れ、学び合う場の創出に向けた取組を推進してまいります。
2	・ 美術館や、町家を活用し、費用を押さえた鑑賞会など芸術に触れる機会が増えてほしい。	1	京都市立芸術大学の移転後、区内では様々なアート展示会が開催されるようになりました。こうした活動の情報発信など京都芸大との連携を密にしております。

○推進にあたって

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 応募用紙に書かれているように、今後も市民の声を聞いてほしい	2	行政と区民の皆様、区民同士の対話の機会を大切にまいります。

○その他

No	御意見	件数	御意見に対する下京区の考え方
1	・ 特に「住んでよし」に注力してほしい。住民が減っては、京都の文化は廃れてしまう。	1	若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進してまいります。
2	・ 観光客が多く、市民の足であったバスは乗りづらく、歩道は人が溢れ、車も混雑し、どのようにこの地域でこれから暮らしていけるのか不安。	1	関係部局と連携しながら、観光課題の改善に向けた取組や、誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを進めてまいります。
3	・ 人と人とのコミュニケーションを、幼少の内から街全体で取り組んで欲しい。	2	オール下京での子どもと家庭を育む地域ぐるみの環境づくりや地域活動への参加促進など多様な主体の世代や分野を超えた活動を進めてまいります。
4	・ 京都市市民憲章では「美しいまち」という言葉がある。運営方針にもこうした理念を加えてほしい。	1	いただいた御意見を踏まえ、まちづくりの方向性3について「自然環境を大切にす美しいまち」としました。
5	・ 運営方針の中に、「SDGs」という言葉は加えないのか。	1	「SDGs（持続可能な開発目標）」は国際目標であり、下京区のまちづくり運営方針にもその理念は既に含まれています。
6	・ 京都駅から東本願寺に向かう道の一部には、観光客によってゴミが無造作に置かれてしまったり、観光客目当てのお店の人が歩道にでて呼び込みをするなど、通勤、通学、生活上の往来に非常に困っている。早急に啓蒙、教育、取り締まりやゴミ箱設置などスピーディーな対策を講じて欲しい。	2	下京区では、地域での清掃活動やまちづくり活動が活発に行われており、いただいた御意見を参考にしながら、清掃活動や啓発活動等を進めてまいります。